

1 石原小学校のスタンス

G I G Aスクール構想に関する石原小学校のスタンス

「タブレット、P Cは学習の道具で、手段であって目的ではない」

2 I C T活用の目的

「使うことが目的ではなく、使って学習し、**情報活用能力**や**学力の向上**を図る」

情報活用能力

(1) 情報活用の実践力

情報を活用して、わからないことをわかるようにする。**情報を探す。→調べること**
情報を**集める。比べる。判断する。**

情報の信憑性を確かめる。「情報の確かさの基準は、情報の作者である」

情報を活用する。引用する。情報源の明示

動画の見方 動画を使って学習する技術

(2) 情報の科学的な理解

情報は正しく伝わらない。

プログラミング的思考

情報は人が作っている。ちがっていることもある。

(3) 情報社会に参画する態度

情報を発信する時には、発信者に責任がある。噂話をひろめない。

いい加減な情報はながさない。

著作権に配慮する。

正しく発信する。人を大切にして情報を活用する。

学力向上

道具として活用して一人一人にあった**個別最適化学習**を行う

道具として活用して、わかりやすい**ユニバーサルデザインの授業**をつくる。

道具として活用し**学習意欲を向上**させる。

道具として活用しローマ字**タイピング技術**を向上させる。

道具として活用し、ペーパーレス、即時対応し**学習機会を多く**する。

道具として活用し、教材の教具の共通化などで**学習の効率化**を図る

3 教職員のI C T活用の心得

(1) デジタルの授業とアナログの授業の**どちらも**できるようにする。

(2) デジタルとアナログを**バランス**を取る

(3) デジタルの授業を**やらせっぱなし**にしない。評価する。自習でつかわせない。

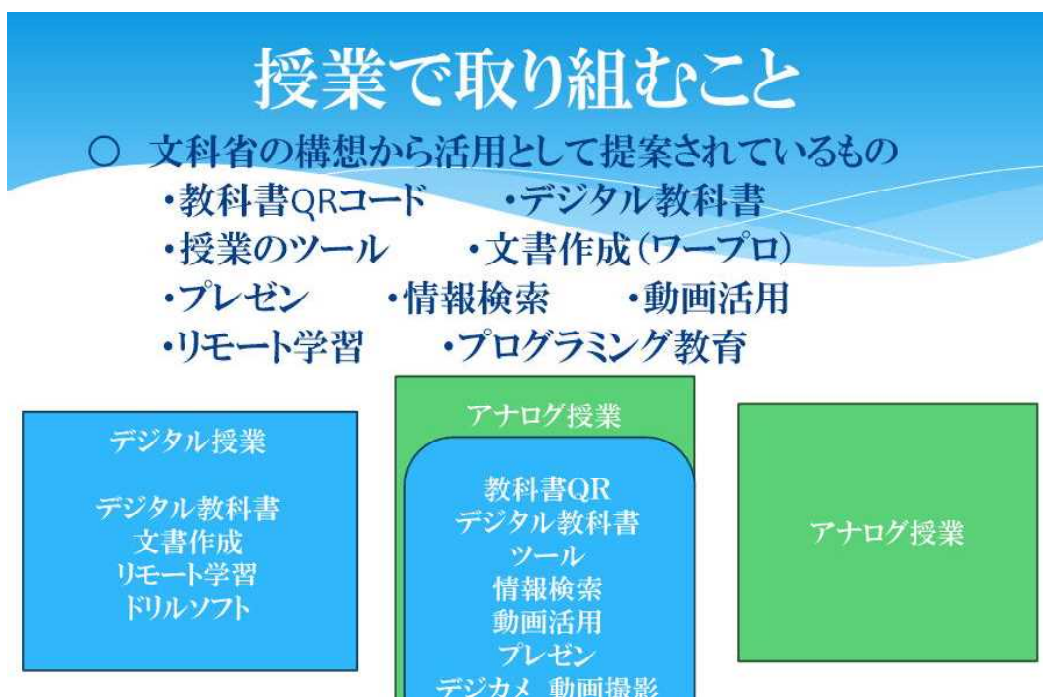
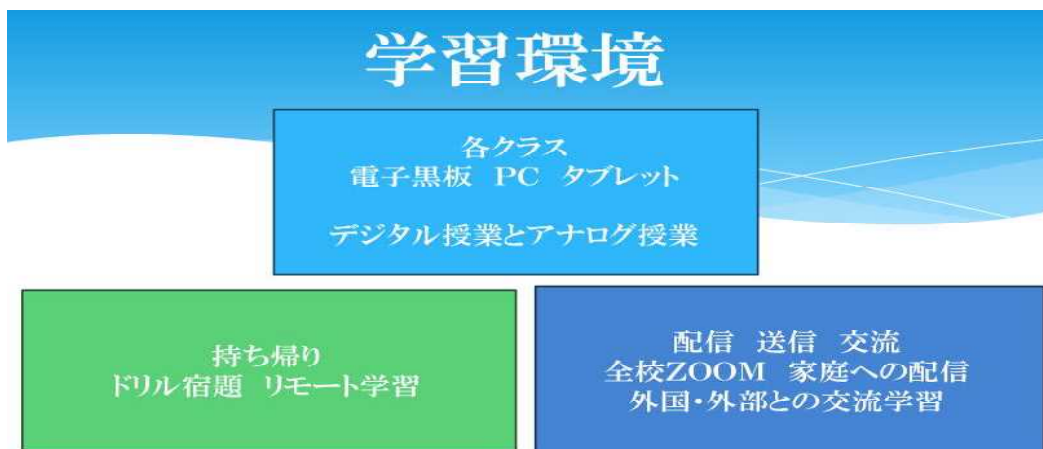
(4) **情報モラル**を指導する。

(5) ドリルソフト等の**教材を分析**する。そして自分でも**開発**をする。

(6) 普段からデジタルツールを使ってペーパーレスする。

4 活用ビジョン

「GIGAの学習環境」と「授業」で取り組むこと



5 利用の頻度

- ・ 教員は1週間に一度は使っていく。慣れる親しむ
- ・ 児童は1週間に1度は使っていく。技術の向上。タイピング操作。
- ・ 配信・交流を行い楽しく学ぶ学校にしていく。
- ・ GIGAタイムの活用

6 優先順位

- ・ 児童のトラブル > PCのトラブル
- ・ 学力向上 > 操作技術
- ・ 情報の学習 > 動画を見せる
- ・ 授業の進行 > PCのトラブル